



株式会社 **笹川組**

# 2021年度 環境経営レポート

(対象期間：2020年9月26日～2021年9月25日)



発行日 2021年10月14日  
発行責任者 村田真朗

認証番号 0008895



## 目次

1.組織の概要と認証・登録範囲

2.環境経営方針

3.主な環境負荷の実績

4.エコアクション21実施体制組織図

5.環境経営目標とその実績

6.環境経営目標及び環境経営計画の取組結果と評価、  
次年度の環境経営目標及び環境経営計画

7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、  
訴訟等の有無

8.代表者による全体の評価と見直し・指示結果

## 報告要件

報告対象期間

2020年(令和2年)9月26日～2021年(令和3年)9月25日

報告対象組織

環境マネジメントシステムを構築している

本社及び京都支店、湖南営業所、荒張作業所の環境取組を対象とする。

# 1 組織の概要と認証・登録範囲

事業者名



株式会社 笹川組

## 事業概要

### 会社概要

設立 昭和27年4月  
資本金 1億円  
代表者 取締役社長 高田盛介  
従業員数 53名(令和3年9月現在)  
本社所在地 滋賀県大津市打出浜13番15号

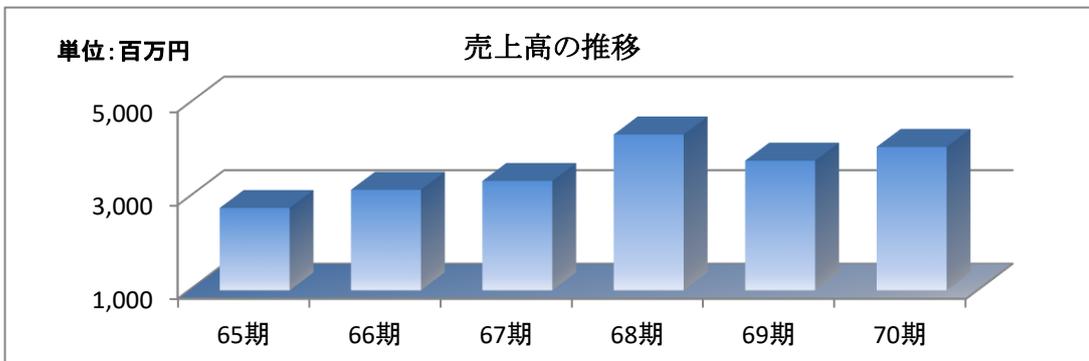
### 事業活動

- ◆土木工事
- ◆上下水道工事
- ◆建築工事
- ◆解体工事

## 事業の規模と事業年度

単位:百万円

65期	66期	67期	68期	69期	70期
平成27年9月26日 ～平成28年9月25日	平成28年9月26日 ～平成29年9月25日	平成29年9月26日 ～平成30年9月25日	平成30年9月26日 ～令和元年9月25日	令和元年9月26日 ～令和2年9月25日	令和2年9月26日 ～令和3年9月25日
2,758	3,148	3,336	4,330	3,770	4,064



## 環境管理関係の責任者及び担当者連絡先(電話番号等)

### 環境管理責任者

営業部長:村田真朗 連絡先: 077-523-2314

### 連絡担当者

事務局:酒井 洋・松田斉丈 連絡先: 077-523-2314

## 許認可

### 建設業許可

国土交通省 許可 特28-464号

エコアクション21

認証・登録番号:0008895

担当事務局:エコアクション21地域事務局 大阪

### 品質管理ISO9001

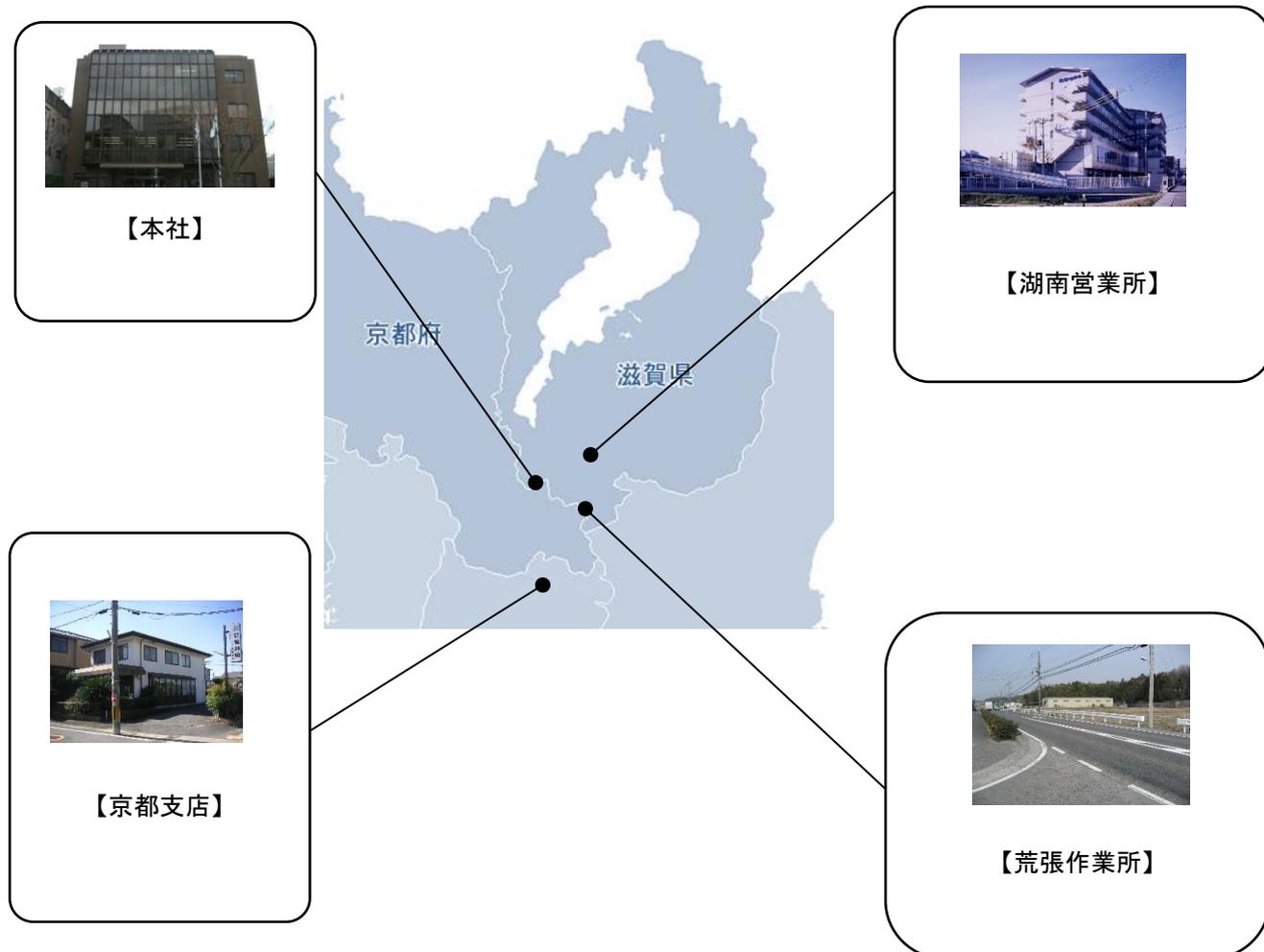
審査期間: ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

認定機関: UKAS

認定番号: CI/1879

## 所在地及び支店

本社 〒520-0806 滋賀県大津市打出浜13番15号  
 京都支店 〒610-0111 京都府城陽市富野森山14番地の2  
 湖南営業所 〒520-3035 滋賀県栗東市霊仙寺1丁目2番19号(ESPO栗東内)  
 荒張作業所 〒520-3003 滋賀県栗東市荒張2027



## 事業組織

面積：㎡	本社	京都支店	湖南営業所	荒張作業所
事務所床面積	2,512.57	153.09	25.38	99.37
倉庫床面積	-	-	-	654.48
駐車場面積	996.00	547.84	786.75	-
資機材置場面積	-	-	-	4,873.00
認証・登録	○	○	○	○

【株式会社 笹川組 本社】

郵便番号: 520-0806

住 所: 滋賀県大津市打出浜13番15号

交通手段: 京阪電気鉄道石山坂本線石場駅より徒歩で5分



【株式会社 笹川組 京都支店】

郵便番号: 610-0111

住 所: 京都府城陽市富野森山14番地の2

交通手段: JR奈良線長池駅より徒歩で10分



【株式会社 笹川組 湖南営業所】

郵便番号:520-3035

住 所:滋賀県栗東市霊仙寺1丁目2番19号

交通手段:JR東海道本線栗東駅より徒歩で8分



【株式会社 笹川組 荒張作業所】

郵便番号:520-3003

住 所:滋賀県栗東市荒張字上長野2027

交通手段:JR東海道本線栗東駅より帝産湖南交通コミュニティセンター金勝

帝産湖南交通コミュニティセンター金勝よりくりちゃんバス浅柄野線美之郷停留所より徒歩で1分



# 環境経営方針

## 環境理念

当社は、地球規模での環境保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、事業活動において、環境に配慮した循環型社会の構築に貢献します。

## 行動指針

当社は、琵琶湖を望み水環境への心遣いと共に歩んできた。一方では建設事業を通じて社会資本の充実に寄与し社会の付託に応えてきたが、それに伴い大きな環境負荷も同時に発することになった。ここに今日の地球環境問題の深刻さをみる時、環境負荷の継続的な削減に取り組む必要を痛感し、社員一同ここに以下の方針の下、取り組むことを誓約するものである。

1. 環境関連法規等を遵守する。
2. 建設事業の企画、設計、施工、維持管理の各段階で例外なく省エネルギー、CO<sub>2</sub>削減等、提案、実行します。
  - ☆ 事務所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO<sub>2</sub>排出量を削減します。
  - ☆ 建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。
  - ☆ 建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。
  - ☆ 施工で使用する建材の化学物質の使用に際しては適正な管理に努めます。
  - ☆ 環境に配慮した施工を推進します。
  - ☆ グリーン購入の拡大を推進します。
  - ☆ 環境活動の社会貢献を推進します。
  - ☆ IT活用を推進し、紙と人の移動の減少による環境負荷の削減に努めます。
3. この環境経営方針は全従業員に周知、徹底する。

2020年11月25日

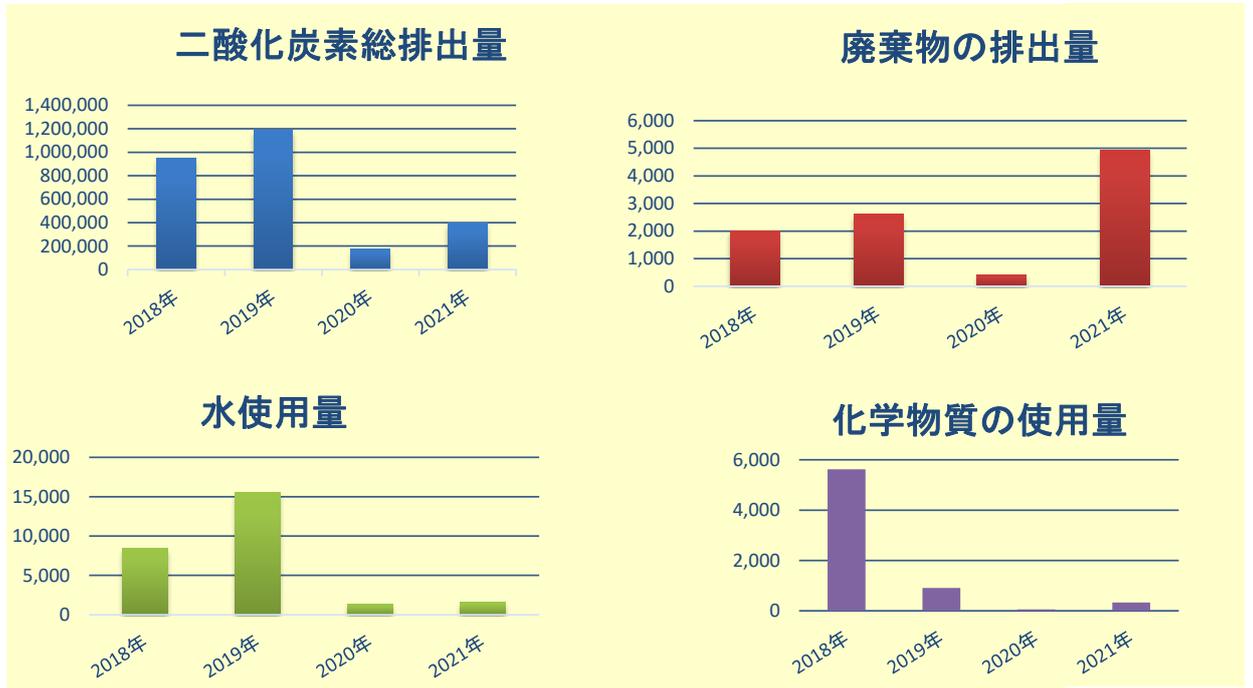
 株式会社 笹川組

取締役社長 高田 盛介

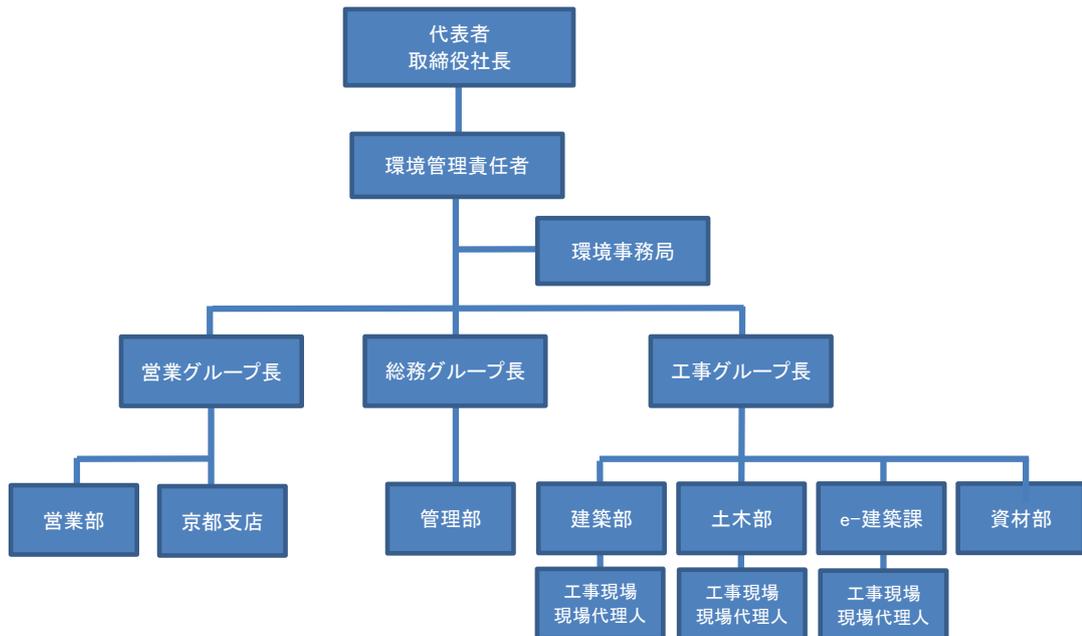
### 3 主な環境負荷の実績

項目	単位\年度	2018年	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	951,099	1,184,979	175,006	393,202
廃棄物の排出量	トン	2,018	2,600	421	4,941
水使用量	m <sup>3</sup>	8,445	15,528	1,366	1,585
化学物質の使用量	kg	5,620	913	56	328

※二酸化炭素総排出量には、都市ガス、液化石油ガスCO<sub>2</sub>排出量 (kg-CO<sub>2</sub>) を含む



### 4 エコアクション21実施体制組織図



## 5 環境経営目標とその実績

2017年～2019年の実績を把握し、その3ヶ年平均を基準値として、2020年度から2022年度までの目標を下記の通り設定し、2019年10月より環境活動に取り組んでいます。尚、このレポートでは、2020年10月から2021年9月までの運用実績について取りまとめました。

【全社】

方針	取組項目 CO2排出量係数	年度 単位	昨年実績		取組年		中長期目標		
			基準年	2020年		2021年		2022年	
			(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(実績)
事務所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO2排出量を削減します。	電力消費量の削減 (kWh) 総務グループ 0.493 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	%		1.0%	-1.3%	2.0%	-9.2%	3.0%	-
		消費量	98,207.0	97,224.9	98,530.0	96,242.9	105,130.0	95,260.8	-
		(kg-CO <sub>2</sub> )	48,416.1	47,931.9	48,575.3	47,447.7	51,829.1	46,963.6	-
	電力消費量の削減 (kWh) 工事グループ 0.493 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	%		1.0%	49.6%	2.0%	68.7%	3.0%	-
		消費量	60,445.2	59,840.7	30,171.6	59,236.3	18,525.4	58,631.8	-
		(kg-CO <sub>2</sub> )	29,799.5	29,501.5	14,874.6	29,203.5	9,133.0	28,905.5	-
		事業規模単位：百万円	3,812	4,000	3,770	3,500	4,064		
		売上高換算値			28,848.4		16,431.6		
	実績比			51.8%		72.3%			
	ガソリンの燃費の向上 (単位：km/ℓ) 総務グループ 2.32 kg-CO <sub>2</sub> /L	%		1.0%	10.8%	2.0%	8.3%	3.0%	-
		km/ℓ	16.5	16.7	18.5	16.8	18.2	17.0	-
		消費量	16,518.3	16,353.2	15,237.6	16,188.0	13,892.8	16,022.8	-
	ガソリン消費量の削減 (単位：L) 工事グループ 2.32 kg-CO <sub>2</sub> /L	(kg-CO <sub>2</sub> )	38,322.5	37,939.3	35,351.2	37,556.1	32,231.3	37,172.9	-
		%		1.0%	99.0%	2.0%	77.1%	3.0%	-
		消費量	2,123.7	2,102.4	22.0	2,081.2	476.4	2,060.0	-
		(kg-CO <sub>2</sub> )	4,926.9	4,877.6	51.0	4,828.4	1,105.3	4,779.1	-
		事業規模単位：百万円	3,812	4,000	3,770	3,500	4,064		
	売上高換算値			21.0		422.6			
	実績比			99.0%		79.7%			
	軽油の燃費の向上 (単位：km/ℓ) 総務グループ 2.58 kg-CO <sub>2</sub> /L	%		1.0%	6.1%	2.0%	-6.0%	3.0%	-
km/ℓ		9.8	9.9	10.5	10.0	9.4	10.1	-	
消費量		2,362.9	2,339.2	2,197.0	2,315.6	2,140.6	2,292.0	-	
(kg-CO <sub>2</sub> )		6,096.2	6,035.2	5,668.3	5,974.3	5,522.6	5,913.3	-	
軽油消費量の削減 (単位：L) 工事グループ 2.58 kg-CO <sub>2</sub> /L	%		1.0%	91.1%	2.0%	62.5%	3.0%	-	
	消費量	308,207.9	305,125.8	27,233.0	302,043.7	113,319.0	298,961.6	-	
	(kg-CO <sub>2</sub> )	795,176.3	787,224.5	70,261.1	779,272.8	292,363.0	771,321.0	-	
	事業規模単位：百万円	3,812	4,000	3,770	3,500	4,064			
	売上高換算値			26,038.7		100,511.1			
実績比			91.5%		66.7%				
灯油消費量の削減 (単位：L) 総務グループ 2.49 kg-CO <sub>2</sub> /L	%		1.0%	22.0%	2.0%	-24.4%	3.0%	-	
	消費量	116.5	115.3	90.0	114.2	142.0	113.0	-	
	(kg-CO <sub>2</sub> )	290.1	287.2	224.1	284.3	353.6	281.4	-	
灯油消費量の削減 (単位：L) 工事グループ 2.49 kg-CO <sub>2</sub> /L	%		1.0%	100.0%	2.0%	78.8%	3.0%	-	
	消費量	260.3	257.7	0.0	255.1	54.0	252.5	-	
	(kg-CO <sub>2</sub> )	648.2	641.7	0.0	635.3	134.5	628.8	-	
	事業規模単位：百万円	3,812	4,000	3,770	3,500	4,064			
	売上高換算値			0.0		47.9			
実績比			100.0%		81.2%				
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO <sub>2</sub> )	%		1.0%	80.9%	2.0%	56.6%	3.0%	-	
	(kg-CO <sub>2</sub> )	923,675.8	914,439.0	175,005.7	905,202.2	392,672.4	895,965.5	-	
	事業規模単位：百万円	3,812	4,000	3,770	3,500	4,064			
	売上高換算値			167,330.8		348,290.6			
実績比			81.7%		61.5%				

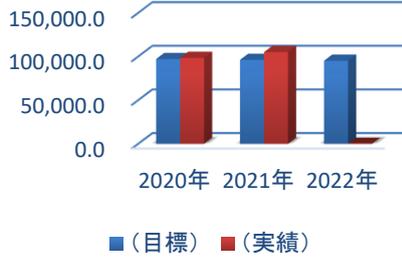
建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。	分別及びリサイクルの推進 (単位: kg) 総務グループ	%		1.0%	-103.1%	2.0%	-28.1%	3.0%	-
		(m <sup>3</sup> /年)	2,236.9	2,214.5	4,498.2	2,192.2	2,809.1	2,169.8	-
	分別及びリサイクルの推進 (単位: %)	%			-18.7%		-73.3%		-
	工事グループ	(%/年)	-	90.0%	73.2%	90.0%	24.0%	90.0%	-
事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 (単位: m <sup>3</sup> ) 総務グループ	%		1.0%	18.3%	2.0%	33.5%	3.0%	-
		(m <sup>3</sup> /年)	1,066.3	1,055.7	862.0	1,045.0	695.0	1,034.3	-
	事業所利用水の節水 (単位: m <sup>3</sup> ) 工事グループ	%		1.0%	93.9%	2.0%	89.1%	3.0%	-
		(m <sup>3</sup> /年)	8,363.5	8,279.9	504.3	8,196.2	889.9	8,112.6	-
		事業規模単位: 百万円	3,812	4,000	3,770	3,500	4,064		
		売上高換算値			482.2		789.3		
	実績比			94.2%		90.4%			
	濁水防止の設置と適正管理 工事グループ	(件/年)	-	12	12	12	12	12	-
施工で使用する建材の化学物質の使用に際しては適正な管理に努めます。	化学物質の適正管理 工事グループ	(回/年)	-	12	12	12	12	12	-
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の拡大 工事グループ	(%/年)		97.0	90.1	97.0	100.0	97.0	-
環境活動の社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加 営業グループ	(回以上/年)	-	12	12	12	12	12	-
	グリーン商品の積極的購入 総務グループ	80.0%に拡大	-	80.0%	73.1%	80.0%	66.8%	80.0%	-
IT活用を推進し、紙と人の移動の減少による環境負荷の削減に努めます。	ペーパーレス化の推進 全グループ	(回/年)		-	-	2	2	2	-

### 目標の説明や補足事項

- 1 購入電力の排出係数は、0.493 kg-CO<sub>2</sub>/kWh(関西電力2016年度調整後排出係数)とする
- 2 廃棄物排出量は、建設現場からの廃棄物に対してのリサイクル率で管理する
- 3 水使用量については、事務所、作業所における水使用量の削減について実施する
- 4 グリーン購入は、当面事務用品について取組む
- 5 上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上のために笹川5S活動(整理、整頓、清掃、清潔、スベート)に取り組む
- 6 (実績)列の「%」行は、目標値に対する達成率です。

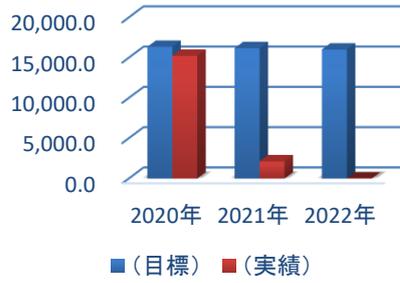
## 電力消費量(kWh)

### 総務グループ



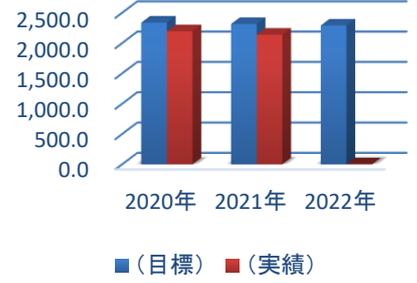
## ガソリン消費量(L)

### 総務グループ



## 軽油消費量(L)

### 総務グループ



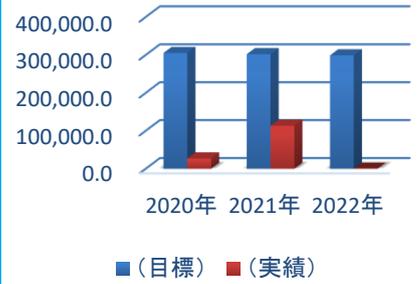
### 工事グループ



### 工事グループ

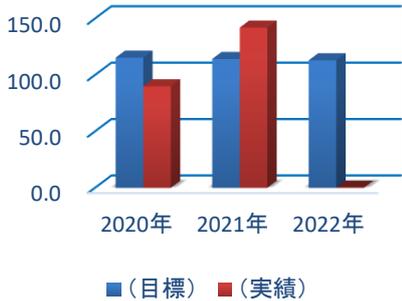


### 工事グループ



## 灯油消費量(L)

### 総務グループ



### 工事グループ



## 二酸化炭素排出量(kg-CO2)

### 全社



6 環境経営目標及び環境経営計画の取組結果と評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

方針	取組項目	環境経営目標・環境経営計画の内容						責任部門
		数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	
事務所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO <sub>2</sub> 排出量を削減します。	電力消費量の削減 (kWh) 総務グループ	数値目標	2.0%	-9.2%	△	強化	3.0%	目標・計画の達成・実施状況の評価 コロナ禍での換気を保ちながらのエアコン稼働の結果、空調機器の使用量が大きく増加した。この運用が年中となり、通常年では空調稼働時期と、夏季冬季での数値に差が生じているところだが、本年はその差が小さく、加えて夏季冬季での超過分も大きく、計画使用量を吸収できる時期が設けられなかった。
		活動計画	内容			実施状況	次年度	
					○		継続	
							継続	
							継続	
							継続	
	電力消費量の削減 (kWh) 工事グループ	数値目標	2.0%	68.7%	○	強化	3.0%	目標・計画の達成・実施状況の評価 年間通じて、ほぼ計画通りであった。
		活動計画	内容			実施状況	次年度	
					○		継続	
							継続	
						継続		
ガソリンの燃費の向上 (単位: km/ℓ) 総務グループ	数値目標	2.0%	7.7%	○	強化	3.0%	目標・計画の達成・実施状況の評価 全期間を通じて、概ね良好な燃費を確保できた。	
	活動計画	内容			実施状況	次年度		
				○		継続		
						継続		
						継続		
						継続		
ガソリン消費量の削減 (単位: L) 工事グループ	数値目標	2.0%	77.1%	○	強化	3.0%	目標・計画の達成・実施状況の評価 ガソリンの使用のほとんどが、高圧洗浄機の燃料であった。工事入口に仮設電気を引き込めない作業所で使用されている。今後は、こまめにエンジンを切るなどして、低減していく。	
	活動計画	内容			実施状況	次年度		
				○		継続		
						継続		
						継続		
軽油の燃費の向上 (単位: km/ℓ) 総務グループ	数値目標	2.0%	-6.0%	△	強化	3.0%	目標・計画の達成・実施状況の評価 車両空調の稼働不稼働の要因ではなく、フォークリフトの稼働増減が計画値に影響を与える結果となった。	
	活動計画	内容			実施状況	次年度		
				○		継続		
						継続		
						継続		
						継続		
軽油消費量の削減 (単位: L) 工事グループ	数値目標	2.0%	62.5%	○	強化	3.0%	目標・計画の達成・実施状況の評価 今期は大型重機による作業所が少なく、計画値より超えることはなかった。次期も、大型機械を使用する、建物の解体・土木工事が見込まれていないため、目標値を少し高く設定する。	
	活動計画	内容			実施状況	次年度		
				○		継続		
						継続		
						継続		
灯油消費量の削減 (単位: L) 総務グループ	数値目標	2.0%	-24.4%	△	強化	3.0%	目標・計画の達成・実施状況の評価 春先まで石油ファンヒーターでの利用が続き、目標を上回るようになったが増加原因は解決し次年度は目標達成を目指す。	
	活動計画	内容			実施状況	次年度		
				○		継続		
灯油消費量の削減 (単位: L) 工事グループ	数値目標	2.0%	78.8%	○	強化	3.0%	目標・計画の達成・実施状況の評価 灯油は冬の休憩時にストーブを使用するのに必要で、必需品として考える必要がある。エアコン設備が整えられる作業所ばかりではないため、次期もある程度の使用量を見込み、計画を立てる。	
	活動計画	内容			実施状況	次年度		
				○		継続		

方針	取組項目	環境経営目標・環境経営計画の内容						責任部門
建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。	分別及びリサイクルの推進 (単位: kg) 総務グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価 年末ごみの増加が総量に大きく影響し目標達成には至らなかったが、リサイクルされるシュレッダーごみの割合を維持して、可燃ごみが従来より減る傾向がみられる結果となった。
		2.0%	-28.1%	△	強化	3.0%		
	活動計画	内容			実施状況	次年度		○
		①資源ごみをリサイクルされる回収業者へ出す				継続		
②シュレッダーごみの再資源化				継続				
分別及びリサイクルの推進 (単位: %) 工事グループ	活動計画	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価 今期は板紙面上の作業所で、埋設された廃材を最終処分場に処分するといったことになり、目標を達成できなかった。今期は特殊な工事であったため、来期は、取組は変えず実行していく。
		90.0%	-73.3%	△	維持	90.0%		
内容			実施状況	次年度		○		
①建設廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する。				継続				
②建設混合廃棄物を削減する。				継続				
事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 (単位: m) 総務グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価 一部の部屋で水を使わなくなるなど、利用環境が変わった原因による節減効果が表れた。
		2.0%	33.5%	○	強化	3.0%		
	活動計画	内容			評価	次年度		○
		①洗車の水使用量を減らす。				継続		
②水を流しながらの洗い物はしない。				継続				
③植栽散水の効率的実施				継続				
事業所利用水の節水 (単位: m) 工事グループ	活動計画	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価 全期間を通じて、節度ある、水の使用ができた。来期も引継ぎ実施する。
		2.0%	89.1%	○	強化	3.0%		
内容			評価	次年度		○		
①洗車の水使用量を減らす。				継続				
②水を流しながらの洗い物はしない。				継続				
濁水防止の設置と適正管理 工事グループ	活動計画	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価 どの作業所においても、吸着マットを常設し、油漏れ対策を怠らずできていた。来期も引継ぎ実施する。
		12回	12回	○	維持	12回		
内容			実施状況	次年度		○		
①オイル吸着材の設置				継続				
②濁水発生点の点検				継続				
施工で使用する建材の化学物質の使用に際しては適正な管理に努めます。	化学物質の適正管理 工事グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価 現場内で適正に保管・管理できており、作業員への周知もできていた。来期も引継ぎ管理していく。
		12回	12回	○	維持	12回		
内容			実施状況	次年度		○		
①使用する接着剤の有害化学物質を削減する。				継続				
②適正管理を行う。				継続				
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の拡大 工事グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価 全ての作業所で毎週欠かさず、実施されており、良い結果が出せた。来期も継続して実施する。
		97.0%	100.0%	○	維持	97.0%		
内容			実施状況	次年度		○		
①建設現場周辺の清掃を週一回実施する。				継続				
環境活動の社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加 営業グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価 1年を通し地域環境向上の貢献は出来たと考える。
		12回	12回	○	維持	12回		
	活動計画	内容			実施状況	次年度		○
		①美知メセナ他活動に参加する。				継続		
グリーン商品の積極的購入 総務グループ	活動計画	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価 継続して選定時のグリーン商品優先が保たれている。改善する要素や余地はほぼ無い。
		80.0%	66.8%	△	維持	80.0%		
内容			実施状況	次年度		○		
①文房具をグリーン商品から選定				継続				
②同種、同価格のものはグリーン商品を優先購入				継続				
IT活用を推進し、紙と人の移動の減少による環境負荷の削減に努めます。	ペーパーレス化の推進 全グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価 ペーパーレスへの取り組みを開始することができ、評価できる1年となった。
		2回	2回	○	維持	2回		
内容			実施状況	次年度		○		
①ペーパーレスへの提案				継続				

数値目標 ○:達成している。△:未達で連続すると問題の可能性ある。  
×:未達で改善の必要がある。

活動計画 ◎:成果につながり良くできている。○:取り組まれていて問題はない。△:取組に問題の可能性ある。  
×:できていない(改善の必要がある)

## 取組の紹介

環境経営方針のもと活動を行い建設業を通じて地域環境保全に配慮する活動を続けています。

県内には日本一の淡水湖(琵琶湖)があり流域の保全にも一層力を入れて活動しています。

建設業の特性ではありますが工事量増加、重機作業の増減に伴い数値目標が大きく上下するが、低炭素社会実現のため既存建物の有効再利用や省エネルギー提案を進め、各作業所においては近隣環境向上の取り組みとして美化活動を行い良い評価を励みにエコアクション21の活動を推進し、より一層省エネルギー工法技術の採用や地域環境保全に貢献できる企業を目指してまいります。

## 次年度の主な取組内容

これまでの取り組みに加えIT活用を推進し、紙と人の移動の減少による環境負荷の低減に努める。

## 活動の紹介

### 【玄関設置のモニターでの環境活動の紹介】

社員だけでなく当社に見えられたお客様やテナント様にも当社の取り組みを知っていただくよう、エコ活動に加え、安全、その他催し等の周知等、その時々に応じた情報を発信しています。



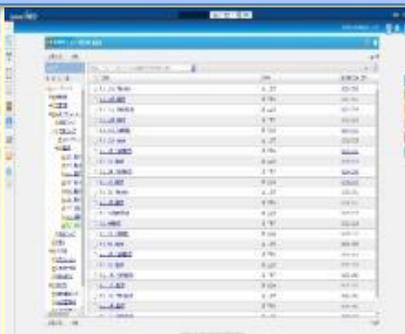
### 【環境測定の紹介】

解体工事中の振動・騒音測定記録。工事がある日は毎日、午前・午後の二回実施を行いました。住宅街での測定のため近隣への環境活動アピールにも一役かっています。山間部での工事着手前には希少植物調査や河川の透視度観測を実施しました。



### 【グループウェアでの紙資料削減】

社員への一斉配布等、従来の紙書類では手間と後々のごみが増加するため、データ書類で確認できるものから、グループウェアの配信機能を用いて情報共有を図っています。作業時間の効率性にも一役買っています。



### 【美知メセナ活動への参加、ひまわり、パンジーの植苗】

本社周辺の清掃並びに、幹線道路の歩道を月に1回清掃しております。夏にはひまわりを植え、秋にはパンジーを植えて歩道と植栽の清掃だけでなく、緑化に努めています。地域の法人様の理解もあり、共同で打出浜地域の植栽活動に力を注いでいます。



### 【現場における汚濁水処理】

掘削により生じた濁水は、PH中和機能付き濁水処理機にて、濁度とPH値を放流基準内に抑えてから放流。作業所内から発生する環境変化で、周囲に対し影響が出ないように自主的に努めています。



### 【環境活動掲示板による活動状況の把握】

環境活動掲示板には、現状の把握ができ、より身近な例えで意識向上に役立てるよう、エコアクション信号と月々に排出する二酸化炭素量が東海道新幹線では何キロの距離を走行する量に値するのか、また月別排出量を森林で吸収した場合の面積を甲子園球場スコアボード面積に例えて、分かりやすく敷居を低くする試みを行っています。



### 【現場の周辺清掃】

各作業所周辺の清掃活動を週に一度実施しています。周辺が綺麗になるのはもちろん、意識も向上し、作業所内でも整理整頓を含めた5S活動に心掛けています。近隣の皆様にも声をかけていただくこともあります。今期における清掃活動の回数は全作業所合計179回となりました。



### 【防音シートの活用】

工事中での近隣への生活環境配慮として、防音シートのシートを採用し、生活の妨げを和らげる努力にも取り組みました。



### 【作業所や事務所での環境活動掲示板】

作業所における環境活動を記録しています。



### 【作業所事務所での日よけ対策】

作業所事務所の日よけと室温の上昇を防ぐ工夫として、ゴーヤの栽培を行いました。お客様へのアピールもできました。



### 【過積載防止】

車輛搬出時トラックスケールを使用し計測し適正な管理をすることで過積載防止に努めています。



### 【建設現場での分別収集の実施】

古紙の分別により産廃コストの削減に努めています。



## 7 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	適正処理
建設リサイクル法	建設副産物の管理、排出	適正処理
騒音規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検、記録	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	適正処理
注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載しています。		

## 8 代表者による全体の評価と見直し・指示結果

今年度も新型コロナウイルスへの対応のため換気を行いながら空調を運転することによる光熱費の上昇もあり削減活動には苦慮する所でもあった。

数値目標は、受注産業のため年度ごとに大きく変化する工事規模、工種内容により数値結果には影響するところではあるが今期は満足できる結果で期末を迎えることができた。CO2排出量の削減については目標達成ができ良い結果となった。

環境配慮施工の目標達成ができ作業所周辺の環境美化向上に貢献ができ近隣住民にも一定の評価を得る結果となった。次年度は目標に「IT活用を推進し、紙と人の移動の減少、エコドライブによる環境負荷の削減に努めます」を新たに制定し一層の環境負荷低減活動とする。

〔変更の必要性〕

- |             |  |  |
|-------------|--|--|
| ・ 環境経営方針    | <input type="checkbox"/> 変更なし            | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり |
| ・ 環境経営目標・計画 | <input type="checkbox"/> 変更なし            | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり |
| ・ 実施体制      | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり            |